

- 1 日 時： 平成 28 年 2 月 16 日 (火) 16 時 00 分～17 時 00 分
- 2 場 所： 大阪府立清水谷高等学校 校長室
- 3 協議会委員：

委嘱委員出席者

(敬称略)

近畿大学 教職教育部 教授	田中 保和
東大阪市立新喜多中学校長	土方 義雄
平成 27 年度 清友会理事	小林 裕子
平成 27 年度 清 援 会 長	井筒 記美恵
平成 27 年度 PTA 会長	佐々木 博康

校内出席者

校長、教頭、事務長、首席 2 名

※記録：首席

## 4 協議：16:00～17:00

## I. 校長挨拶

## II. 協議

## ①平成 27 年度学校教育自己診断 集計結果について

## ◆ 首席より学校教育自己診断集計結果について説明。

- ・ 平成 28 年 1 月に調査実施。肯定率の説明。
- ・ 学校の様々な活動を客観的に判断できるように質問の表現を変更した。

## (1) 生徒の回答について

- ・ 学校生活全般については、高い肯定率を保っている。
- ・ 自治活動などについての肯定率の低下。→ その一方で行事に積極的に参加している。質問の変更による影響か。
- ・ 学習と部活動については、家庭学習や学校外での学習について注目していく必要がある。
- ・ 授業については「学ぶ意欲を引き出す授業をしている。」という本年度新設された質問の肯定率が 68.9%であった。
- ・ 外部との交流についてはオーストラリアからの留学生受け入れ年では無かったが、肯定率は過去最高を更新した。

## (2) 保護者の回答について

- ・ 「保護者が授業参観や学校行事に参加できる機会がある。」という学校の取組について質問の表現を代えたため肯定率が高くなった。

## (3) 教職員の回答について

- ・ 「教育活動における問題意識や悩みについて、教職員間で話し合える職場環境である。」という質問の肯定率は年々上昇していたが、今年度下降した。世代間のコミュニケーションなど、教職員間の意思疎通の回り方について検討する必要がある。

## ②平成 27 年度学校経営計画及び学校評価（案）について

### ◆ 校長より学校経営計画および学校評価（案）について説明。

- ・ 生徒・保護者の本校に入学したことに対する満足度は高い。
- ・ 授業のあり方は、小テスト・課題・ノート提出だけでよいのか。本校生は「本や新聞を読むことが少ない」とベネッセのスタディサポートの結果が出ている。
- ・ 「人権を学ぶ機会を設けている。」等の人権教育に関する質問への肯定率は上昇している。
- ・ アドミッションポリシーへの共鳴度は高い。
- ・ 1月に教員研修「内破する力をどうつけるか」を実施。仕事軽減についても検討。
- ・ 教職員間でもっと「問題意識を話し合いたい」とする機運が高まっている。
- ・ ベテラン教員が多いことも清水谷の利点である。授業公開期間の示範授業見学や初任者校内研修等を通じて、多くの教員がベテラン教員の豊かな経験に学ぶ機会となった。

## ③平成 28 年度学校経営計画（案）について

### ◆ 校長より学校経営計画（案）について説明。

#### 〔委員からの意見〕

- ・ センター試験出願者の減少についての原因は何か。
- ・ 授業改善において「学びの共同体」を中学校で取り入れている。教員三人一組とし互いの授業見学をしている。感想シートを取り入れる等、教員が学ぶ機会をつくることが大切である。
- ・ 教員同士の学び合いは良いことである。
- ・ 教員が意欲を持てば、生徒の学習意欲も高まる。結果として国公立大学進学を目指す生徒も増えるのではないか。
- ・ 教員が授業研究など新たな取組みを進めるためには、仕事の整理（スクラップ&ビルド）が必要。スクラップ・スクラップ&ビルドでもよいくらいである。

## Ⅲ. 連絡

「平成 28 年度清水谷高等学校 学校協議会」について

議事終了 17:00